

福井県里山里海湖研究所年報 2021

Fukui Prefectural Satoyama-Satoumi Research Institute
Annual Report 2021

令和3年6月

福井県里山里海湖研究所

目 次

| | | |
|---|---------------------------|----|
| 1 | 令和2年度事業概要および令和3年度事業計画 | 1 |
| 2 | 令和2年度事業報告 | |
| | (1) 研究 | 3 |
| | (2) 教育・普及 | 4 |
| | (3) 実践 | 7 |
| 3 | 主なイベント詳細報告 | |
| | (1) 里山里海湖フォーラム2021 | 20 |
| | (2) 企画展の開催 | 21 |
| 4 | 研究員の活動 | |
| | (1) 研究の概要 | 23 |
| | (2) 学会発表・執筆活動 等 | 31 |
| | (3) その他活動報告 | 33 |
| 5 | 研究所資料 | |
| | (1) 沿革 | 35 |
| | (2) 組織 | 35 |
| | (3) 活動方針 | 36 |
| | (4) 福井県里山里海湖研究所 三方五湖自然観察棟 | 39 |
| | (5) 福井県年縞博物館 | 41 |
| 6 | 所長寄稿文 | 42 |

ごあいさつ

このたび、2020年度の活動概要と2021年度の活動計画を「福井県里山里海湖研究所年報2021」としてとりまとめました。

最近の新聞雑誌では、「SDGs」の文字を見ないことはありません。ご存じのように、「海の豊かさを守ろう」、「陸の豊かさを守ろう」、「貧困をなくそう」といった17項目の目標です。国連が定めた2030年までに達成しようという地球社会の「持続可能な発展目標」(Sustainable Development Goals)ですが、特に2021年以降はSDGs達成に向けた具体的取組の拡大のための「行動の10年」とされ、各方面での取組が加速しています。

私たちの里山里海湖研究所の活動もSDGsに大きく関係しています。例えば、2020年度は三方五湖のなぎさ護岸の再生が進められたことに加え、再生した豊かな生態系から得られるフナやシジミなど自然の恵みを活用した料理を「三方五湖メシ」として名付けて発信しました。これは、SDGsという概念を輸入して地域に単に当てはめるのではなく、福井の里山里海湖とそこで育まれてきた独自の里海湖文化を、SDGsの観点から再生発展、発信した取組でありましょう。主たる担当者の宮本研究員らの尽力を讃えたいと思います。

SDGsの達成には、市民一人々々の、特に消費者側の意識も変わらなければなりません。生産、消費、廃棄の過程で環境負荷の大きな商品よりも、地産地消の物品等里山ビジネスにより高い価値を見出す人々が増えていくことで、域内生産者の働きを後押しすることができます。もちろんSDGsに取り組む企業も増えています。例えば、巨大企業であるアップルに部品供給を行うサプライチェーンでは、2030年までに再生可能エネルギー100%で作られた部品を求められています。日本においても、この潮流に乗れない企業はいずれ取り残されることになるでしょう。

里山里海湖で暮らす地域の人々から、都市の生活者、中小からグローバル企業に至るすべてで、「パートナーシップで目標(SDGs)を達成しよう」ということが重要になってきます。

昨年から引き続き、新型コロナウイルス感染症は大きな社会問題であり、その影響は多方面に波及、たとえば首都圏等大都市から地方へ移住する人が増えています。また、都会の仕事が減る一方、元々人手不足であった地方の農業分野との人材マッチングが行われる事例もあり、移住とまでいかなくても、農業体験等といった新たな地方での生活体験が促進されることで、田舎暮らしに魅力を感じる人が増えているようです。このような人材が里山里海湖の暮らしに参画することで、アイデアの掛け算が行われ、地域性豊かな里山ビジネスが活性化するのではないのでしょうか。このような潮流が私たち里研の理念である「生物多様性」、「生活多様性」、「経済多様性」、「景観多様性」の4つの多様性を育み、地域を元気にすることの追風となるよう期待したいと思います。

私たち里研は、今後とも、science for science (科学のための科学)ではなく、science for society (社会のための科学)、さらにはscience for policy (施策と行動のための科学)までを視野に入れて、「福井県の持続可能性」を高めることにはいかに寄与できるかを考えながら取組みを進めてまいりたいと思います。

これからも県民の皆様、NPO、企業団体、行政や教育機関など多様な主体と連携しながら研究所活動を展開してまいります。どうぞ皆さまの積極的な「ご理解」「ご参加」「協働」「ご支援」をよろしく願いいたします。

福井県里山里海湖研究所長／農学博士
進士 五十八

1 令和2年度事業概要および令和3年度事業計画

1 研究

- ・福井県の里山里海湖の価値を科学的に解明
- ・国内外の大学や試験研究機関と連携を強化
- ・福井県の里山里海湖フィールドに研究者・学生を受け入れ、福井県の地位を高める。

| 活動名 | 活動概要 | 実績・計画 | |
|-----------------|---|-------------------------------|-------|
| | | 2年度実績 | 3年度計画 |
| 研究活動 | 環境考古、保全生態、森里川海連環、里地里山文化の4分野において地域に貢献する実学研究を推進 | 研究成果の社会実装 県内自然再生協議会等への参加 | 継続実施 |
| 研究活動の発表 | 研究員が行った研究活動を積極的に学会や県民に発信 | 学会等で発表6件 研究発表会等3件 企画展2回 | 継続実施 |
| 県外研究者・学生等の受入れ支援 | 県外大学等とのパイプを構築し、本県の里山里海湖のフィールドを提供、調査・研究を行う研究者・学生を受入れ | 研究者・学生受入 7名 | 継続実施 |

2 教育・普及

- ・保育園、小学校、中学校と連携した次世代の人材育成
- ・身近な生き物や季節の移ろいを感じ取れる子どもを育成

| 活動名 | 活動概要 | 実績・計画 | |
|-------------------|--|--|--------------|
| | | 2年度実績 | 3年度計画 |
| 里山里海湖学校教育プログラムの活用 | 学校の校外学習における里山里海湖体験活動の指導者用教材を作成し、県内の全小中学校に配布、授業等で活用 | 丹南地区周辺体験編を改定 既存プログラムに延べ276校・団体 16,812名参加 | 内容の拡充および活用促進 |
| 里山里海湖出前講座 | 研究員等が積極的に地域に赴き、出前講座を開催 | 出前講座12回実施 194名受講 | 継続実施 |

3 実践

- ・ 県民に身近な体験フィールドを設け、自然再生団体、地域住民と協働し、研究、教育・普及、実践を行う。
- ・ 活動者のやる気を育み、活動を支援することで、里山里海湖を次世代へ継承する。

| 活動名 | 活動概要 | 実績・計画 | |
|------------------------------|--|---|---------------------|
| | | 2年度実績 | 3年度計画 |
| 福井ふるさと学びの森 (研究所運営) | 里山での体験活動を通して、人の暮らしと自然との関わりを学ぶ「福井ふるさと学びの森」を開設し、より多くの県民が里山里海湖に触れ親しむ機会を提供 | 若狭・あわらの2エリアで実施 体験イベント3回 受入事業2回 128名参加 | 若狭エリアで2回開催 |
| 福井ふるさと学びの森ネットワーク (登録団体運営) | 自然体験、自然観察、自然再生活動ができる里山を「福井ふるさと学びの森」として登録し、県民が気軽に里山に触れ、親しみ、学ぶ機会を提供 | 先進的・挑戦的活動、新規登録団体への支援 4件 登録34団体が体験イベント等開催 225回開催 イベント広報支援 | 団体支援 5件 イベント継続実施 |
| 福井ふるさと学びの海湖 | ふるさと学びの森に加え、里海湖での体験活動を行う団体・場所を「学びの海湖」として登録、県民が自然に触れ親しみ、学ぶ機会を提供 | 登録5団体が体験イベント等開催 90回開催 イベント広報支援 | イベント継続実施 |
| ふくい里山里海湖活動表彰 | 里山里海湖の保全・再生・活用に関する優れた活動団体等を表彰 | 4件(2団体・3企業)を表彰 | 継続実施 |
| ふるさと研究員認定 | 里山里海湖にまつわる知恵や技を持つ県民をふるさと研究員に認定し、知恵の伝承や活動団体への派遣による支援 | 1名追加認定 合計49名 12回派遣 | 認定・派遣継続実施 |
| 元気なふるさとの里山整備事業 | 地域住民団体が地域住民以外の団体等の参加および協力を得て行う里山整備を支援 | 2地区で整備を開始 2地区で継続整備 | 継続実施 |
| 自然再生活動用資機材の貸出し | 自然再生活動を支援するため、ウッドチップパー、薪割り機等を無償貸出し | 福井地区、丹南地区、嶺南地区の3か所で貸出し 延べ70回貸出し | 継続実施 |
| 三方湖のヒシ対策 | 研究員の開発した効果的なヒシ対策手法を実践展開 | 刈取り面積109.6ha | 継続実施 |
| 里山里海湖研究所来所者向け体験講座 | 里山里海湖の伝統的な人の営みを学ぶ体験講座を実施 | 自然観察棟および周辺施設を活かした特別企画5回実施 | 特別企画4回 |

2 令和2年度事業報告

(1) 研究【地域に貢献する実学研究 : Science for society】

里山里海湖に関する研究者が、生物多様性を守り、その恵みを人々の暮らしに結び付ける様々な研究を行う。

①実学研究の推進

□研究分野

| 研究分野 | 研究内容 | 研究者 |
|--------|---|-------|
| 環境考古 | 過去の気候と人の暮らしの関わり合いを解明するとともに、年縞を基にした研究成果を観光や教育に活用 | 山崎 彬輝 |
| 保全生態 | 里山の保全・再生に関わる保全生態学的研究を行い、研究成果に基づき地域住民との共働による自然再生と利用を推進 | 石井 潤 |
| 森里川海連環 | 汽水域の環境とそこに棲む生き物の関係を明らかにし、里山里海湖の保全・再生に取り組む人々の活動に還元 | 宮本 康 |
| 里地里山文化 | 里に伝わる伝統、文化、習俗等を研究・活用し、これからの地域活動等を活性化 | 樋口 潤一 |

※研究活動の詳細は「4 研究員の活動」(P 23～)を参照

②研究内容や活動の情報発信

□学会、研究会での発表

令和2年度実績：6件（口頭発表2件、ポスター発表4件）※いずれもオンライン開催

- 7月12日～16日 日本地球惑星科学連合2020
- 10月19日～20日 2020年度日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会
- 12月26日～27日 第四紀学会2020年大会
- 12月20日 第11回琵琶湖地域の水田生物研究会
- 3月1日～5日 二枚貝等資源生産研究会
- 3月17日～21日 第68回日本生態学会

□研究発表会、報告会の開催

令和2年度実績：3件

- 1月16日 コイ・フナ育成の取り組み報告会（若狭町）
- 2月27日 北潟湖の生きものと環境の調査報告会（あわら市）
- 3月7日 里山里海湖フォーラム（坂井市）
※サテライト会場を若狭町に設けたほか、オンラインでも配信



北潟湖調査報告会

□研究成果を活かした企画展の開催

令和2年度実績：2回

- 11月25日～12月25日 コイもびっくり 三方湖の漁具展
- 2月3日～3月31日 三方五湖メシ 食べてみた！（冬編）

③調査・研究フィールドのメッカに

□研究者・学生への支援

県外大学等とのパイプを構築し、福井県の里山里海湖のフィールドを提供し、調査・研究を行う研究者・学生を受入れ

令和2年度実績：延べ 2大学、7名

(2) 教育・普及【里山里海湖を「体感」し、感性を育む】

里山里海湖の自然を子どもたちに体感させ、その大切さを伝えるとともに、地域の保全・再生活動を担うリーダーを育成する。

④地域資源を活かした環境教育

□「里山里海湖学校教育プログラム」作成

子どもたちが里山里海湖の自然を体感し、学習するため、小学校および中学校の教員が児童生徒を指導するためのプログラムを作成

環境教育を系統立てて学習ができるよう、現場の教員にも作成、編集にご協力いただきながら、学校での年間指導計画の中に位置付けられるような形で編成

小中学校の教員が「里山里海湖とは何か」、「里山里海湖でどんな活動ができるのか」、「学習指導要領や教科書との関連はどうか」を知ることができる手引書として活用

令和2年度実績：令和3年3月 丹南地区周辺体験プログラムの改訂



□「里山里海湖学校教育プログラム」による受入れ

平成26年度から配布している「里山里海湖学校教育プログラム」に基づき、自然体験や里山里海湖資源を活用した体験を行う学校等を受入れ

令和2年度実績：延べ276校・団体 16,812名の児童・生徒等が体験

○三方五湖周辺体験編

| 施設名 | プログラム名 | 主な内容 |
|---------------------------|----------------------|------------------------|
| 福井県里山里海湖研究所 (自然観察棟を含む) | どんぐりアート | 里山のどんぐりやまつぼっくりで人形を作る |
| | 三方湖畔の自然観察(野鳥観察含む) | 三方湖畔を散策し、生きものを観察する |
| 福井ふるさと学びの森 (若狭町気山) | みんなで春(夏・秋・冬)を見つけに行こう | 学びの森で工夫しながら楽しく遊ぶ |
| | 樹木の観察 | 名前をつける活動を通して、自然に親しむ |
| | 森のげいじゅつ家 | 里山の材料を活かして作品づくりをする |
| 福井県海浜自然センター | ビーチクラフト | 里海湖に流れ着いた廃材を利用した工作 |
| | プランクトン観察 | 里海湖の生き物(プランクトン)を観察 |
| | イカや魚の解剖実験 | 里海湖の魚を解剖し、魚の食べ物を知る |
| 福井県立三方青年の家 | 館内見学(ラムサール条約登録湿地) | 若狭湾や三方五湖に関する館内展示の見学・体験 |
| | ゴムボートで浦見運河を体感 | ゴムボートで浦見運河を見学 |
| 若狭三方縄文博物館 | スポーツ「雪」合戦 | 季節を問わず体育館でする雪合戦 |
| | 行方久兵衛と浦見運河～石工体験～ | 里を開拓するための体験をする |
| 福井県年縞博物館 | 若狭三方縄文博物館の見学 | 若狭三方縄文博物館を見学する |
| | 「水月湖年縞」講義 | 年縞についての講義を聞き理解を深める |
| | 年縞博物館の見学 | 年縞堆積物の実物展示を見て理解を深める |

令和2年度実績：延べ24校・団体 768名

○北潟湖周辺体験編

| 施設名 | プログラム名 | 主な内容 |
|-----------------------|-------------|---------------------|
| 福井県立芦原青年の家 | 花炭をつくろう | 松ぼっくりなどを炭化させ、炭をつくる |
| | リサイクル紙漉き | 牛乳パックを原料として紙をつくる |
| | 野鳥観察 | 冬に北潟湖に飛来する野鳥を観察する |
| | いかだづくり | 竹でいかだを作る |
| | 和凧づくり | 伝統的な角凧を作る |
| 福井ふるさと学びの森 (北潟国有林) | 森林教室 | 森の役割を学びながらクラフト作りをする |
| | 冬の生きものさがし | 森にある冬芽を観察する |
| | 季節の植物観察 | 季節ごとに見られる山野草などを観察する |
| | 植林、枝打ち体験 | 苗木の植栽や枝打ち作業を体験する |
| | 落ち葉かきと堆肥づくり | 落ち葉から土壌への形成過程を学ぶ |

令和2年度実績：延べ6校 128名

○六呂師高原周辺体験編

| 施設名 | プログラム名 | 主な内容 |
|---------------------|--------------------|----------------------|
| 福井県立 奥越高原青少年自然の家 | ネイチャークラフト | 自然の中から材料を集め、壁掛けなどを作る |
| | バードコール | 枝を使って音を出す器具を作る |
| | アドベンチャーワールド | 自然の中で、五感をつかって課題を解く |
| 福井県自然保護センター | 自然観察の森ガイド | ガイドの案内により、自然観察をする |
| | 花から実へ | さまざまな花と実、受粉の仕方を知る |
| | 森林とわたしたちの暮らし | 雑木林で、人と生物の関係を学ぶ |
| | いろいろな植物の種の運ばれ方 | 様々な種子散布様式を観察する |
| | 「伏石（ぶくいし）」の正体を調べよう | 「伏石」の調査や地形の観察をする |
| | 冬の野鳥観察 | エサ台に来る野鳥の観察をする |
| | 日本一きれいな星空を見よう | 太陽や月、星の動きを学ぶ |

令和2年度実績：延べ11校・団体 908名

○丹南地区周辺体験編

| 施設名 | プログラム名 | 主な内容 |
|-------------------|---------------|-------------------------|
| 福井県立鯖江青年の家 | ネイチャーゲーム | 野外や森の中で様々なゲームをし、自然とふれあう |
| | 葉脈のしおりづくり | 葉脈標本をつくり、植物の体のつくりを学ぶ |
| しらやまいこい館 | コウノトリ放鳥の足跡 | コウノトリを通して、自然と人との関わりを学ぶ |
| 越前市エコビレッジ交流センター | 里地里山エコツアー | 坂口地区の豊かな自然や生きものを観察する |
| 八ツ杉森林学習センター | 自然の色・草木染め体験 | 自然の材料を使った草木染めを体験する。 |
| 森の学び舎（悠久ロマンの杜） | 森林教室 | 森林および林業について学習する |
| 越前町立福井総合植物園プラントピア | 植物観察 | 四季折々で変化する植物の様子を観察する |
| 越前和紙の里パピルス館 | 紙すき体験 | 伝統工芸品である「越前和紙」を手すきする |
| 福井県陶芸館 | 陶芸教室「手ひねりコース」 | 歴史ある「越前焼」を製作する |
| うるしの里会館 | うるしの里「絵付け体験」 | 「越前漆器」の絵付け体験をする |

令和2年度実績：延べ235校・団体 15,008名



どんぐりアート



野鳥観察

⑤ 研究員講座の提供

□ 出前講座の開催

研究員等が積極的に地域や小中学校に赴き、出前講座を開催

令和2年度実績：12回講座開催 194名受講

【研究員による出前講座】 延べ9回 145名受講

| No. | 開催日 | 内容 | 相手方 | 開催場所 | 人数 | 研究員 |
|-----|----------|---------------------------|--------------|--------------|----|-----------|
| 1 | R2.7.5 | 田んぼで育成したコイ・フナの稚魚の回収と計測作業 | 三方小6年、農業従事者他 | 若狭町館川 | 10 | 石井 |
| 2 | R2.7.8 | 田んぼで育成したコイ・フナの稚魚の回収と計測作業 | 三方小6年、農業従事者他 | 若狭町館川 | 7 | 石井 |
| 3 | R2.7.17 | 田んぼで育成したコイ・フナの稚魚の回収と計測作業 | 三方小6年、農業従事者他 | 若狭町生倉 | 11 | 石井 |
| 4 | R2.7.16 | 田んぼで育成したコイ・フナの稚魚の回収と計測作業 | 三方小6年、農業従事者他 | 若狭町鳥浜 | 13 | 石井 |
| 5 | R2.7.27 | 田んぼで育成したコイ・フナの稚魚の回収と計測作業 | 三方小6年 | 若狭町鳥浜 | 7 | 石井 |
| 6 | R2.7.28 | ゆりかご田（学校田）の水草について | 三方小5年 | 三方小学校学校田 | 23 | 石井 |
| 7 | R2.8.5 | ゆりかご田で育成したコイ・フナ稚魚の回収と計測作業 | 三方小5年 | 三方小学校学校田 | 8 | 石井 小嶋※ |
| 8 | R2.12.23 | 水月湖年縞から分かること | 敦賀高1年 | 三方青年の家 | 32 | 山崎 |
| 9 | R3.2.5 | 水月湖年縞について | 青池学園 | 若狭三方縄文博物館講座室 | 34 | 山崎 |

※小嶋明男氏は、ふるさと研究員

【研究事務員・相談員による出前講座】 延べ3回 49名受講

| No. | 開催日 | 内容 | 相手方 | 開催場所 | 人数 | 担当 |
|-----|---------|--------------|-----------|-----------|----|------|
| 1 | R2.7.2 | 南川の生き物調査 | 口名田小3年 | 南川（小浜市中井） | 13 | 高橋加藤 |
| 2 | R2.7.17 | 講義「若狭町の自然環境」 | 三方中1年 | 三方中学校 | 21 | 高橋加藤 |
| 3 | R2.8.5 | 鳥羽川の生き物観察会 | 鳥羽川水系を守る会 | 鳥羽川（馬橋付近） | 15 | 高橋 |



三方中学校「若狭町の自然環境」講義



三方小学校「コイ・フナ育成田での活動」

(3) 実践【次世代につながる持続可能な里山里海湖の保全・再生・活用】

里山里海湖の保全・再生に頑張る地域や団体を応援や支援するとともに、共に活動することで、研究成果を人々の暮らしに活用する仕組みを構築する。

⑥「福井ふるさと学びの森・海湖」

□「福井ふるさと学びの森（県運営）」で里山に触れ・親しみ・学ぶ機会を提供

里山での自然体験、自然観察、自然再生活動を通して、人の暮らしと里山との関わりを学ぶ。若狭エリアおよびあわらエリアの2か所で活動機会を提供

○福井ふるさと学びの森（県運営）2エリアの概要

| エリア | 若狭エリア | あわらエリア | |
|-----|-----------------------------------|-------------------------------------|--------|
| 開設 | 平成26年6月21日 | 平成27年5月15日 | |
| 場所 | 若狭町気山 | あわら市北潟 | あわら市波松 |
| 面積 | 約4ha | 約3.9ha | 約2ha |
| 所有者 | 民有地（気山区寺谷地区） | 国有地（北潟国有林） | 民有地 |
| 管理者 | 里山里海湖研究所 | 福井森林管理署 | 地域住民 |
| 特徴 | 多様な樹木や野鳥が観察できる。展望広場からは三方五湖が眺望できる。 | 多様な樹木や希少な植物、貴重な自然林が観察できる。日本海も眺望できる。 | |

○開催イベント

令和2年度実績：参加者数 128名

うち体験イベント開催 3回 延べ 62名

| | | | |
|---|--------|----|-----|
| 〔 | 若狭エリア | 2回 | 51名 |
| | あわらエリア | 1回 | 11名 |

うち遠足等受入 2回 延べ 66名

| | | | |
|---|--------|----|-----|
| 〔 | あわらエリア | 2回 | 66名 |
|---|--------|----|-----|

(1) 若狭エリア

| No. | 開催日 | タイトル | 主な内容 | 人数 |
|-----|------------|-------------|--|----------------------|
| 1 | R2.7.5 | 夏の里山を探検しよう！ | 夏の里山で、ネイチャーゲームをしながら楽しく植物や生き物を感じる。 | 15 |
| 2 | R2.8.24-25 | 森での保育体験 | 保育士を目指す学生が野外での活動における安全の確保や幼児との接し方を学ぶ。 | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 |
| 3 | R2.11.15 | 焚火で秋の味覚体験 | 薪や炭で焼き芋を体験。また、スギの人工林で間伐見学と丸太きり体験を行い、林業や間伐の役割を学ぶ。 | 36 |

(2) あわらエリア

| No. | 開催日 | タイトル | 主な内容 | 人数 |
|-----|---------|---------|--|----|
| 1 | R2.9.26 | 秋の国有林散策 | 普段入ることができない北潟国有林で、潮騒の音を耳にしながら希少な山野草や植物を観察し、自然の摂理を学ぶ。 | 11 |



若狭エリア 7/5 イベント



あわらエリア 9/26 イベント



若狭エリア 11/15 イベント

<参加者の声>

- ・ 虫に抵抗のある娘が楽しそうであった。(40代)
- ・ 焚火で焼き芋をしたかったがなかなかできる場所がないのでこういう機会がありがたい。とても良い時間を過ごせました。木の伐採も子供も夢中で勉強になりました。(30代)
- ・ 一本の木を切り倒すところを間近に見ることができたこと。火を付ける所からお芋が焼きあがるまでの工程を全て自分たちでさせてもらえたこと全て楽しかったです。(40代)
- ・ 木を切るのが楽しかった。(小学生)
- ・ いろいろな物(クリや枝など)を拾ったことが楽しかったと言っていました。(40代)
- ・ 説明する方がゆっくり楽しく説明して下さい、子どもにもよく理解できる話し方で良かったです。(40代)

□「福井ふるさと学びの森・海湖」を全県下で展開

県民がより気軽に里山・里海湖に触れ親しめる機会を提供していくため、県直営の「福井ふるさと学びの森」に加え、県内で民間団体等が体験活動を運営する森や海湖を「福井ふるさと学びの森・海湖」として登録

○「福井ふるさと学びの森」における活動

県内の里山を活動場所として、自然体験・自然観察・自然再生の活動に取り組む団体および活動場所34か所(表1参照)を「福井ふるさと学びの森」として登録。新型コロナウイルス感染症予防のため、参加人数を制限したイベントが増加し、総参加者数は減少したものの、多くの県民が身近な里山を訪れた。

| | | | |
|---------|--------|----|--------|
| 令和2年度実績 | イベント開催 | 延べ | 225回 |
| | 参加者数 | 延べ | 4,384名 |

○「福井ふるさと学びの海湖」における活動

県内の海湖(川を含む)において、自然を感じ、学ぶ体験活動および海湖を保全する体験活動を広く県民に提供する5団体(表2参照)を「福井ふるさと学びの海湖」活動団体として登録。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、特に春先のイベントの中止や規模縮小を余儀なくされたが、夏場以降工夫してイベントが開催され、多くの県民の方が海湖での体験活動に参加した。

| | | | |
|---------|--------|----|--------|
| 令和2年度実績 | イベント開催 | 延べ | 90回 |
| | 参加者数 | 延べ | 2,429名 |

(表1)

福井ふるさと学びの森 登録団体および活動場所一覧

| 登録 番号 | 学びの森の活動を行う団体・法人名 | 学びの森の活動を行う場所 | |
|----------|----------------------------|----------------------------------|------|
| | | | 市町 |
| 1 | 青葉山里山整備の会 | 高浜町中山地区（青葉山） | 高浜町 |
| 2 | 青葉山麓研究所 | 青葉山麓 （高浜町健康長寿の里およびその周辺） | 高浜町 |
| 3 | あそぼっさ！越前市 ハッピープロジェクトチーム | 村国山芦山公園 | 越前市 |
| 4 | あわらの自然を愛する会 | 北潟湖周辺 | あわら市 |
| 5 | えいへいじ緑清会 | 吉野ヶ岳 | 永平寺町 |
| 6 | 特定非営利活動法人 エコハウス沙羅 | 福井市謡谷町 | 福井市 |
| 7 | 公益財団法人 越前市文化振興・施設管理事業団 | 八ツ杉千年の森 | 越前市 |
| 8 | 越前町立福井総合植物園 | 越前町立福井総合植物園 | 越前町 |
| 9 | 小原E C Oプロジェクト | 勝山市北谷町小原地区 | 勝山市 |
| 10 | 河和田自然に親しむ会 | 河和田地区 （中山公園、尾花キャンプ場等） | 鯖江市 |
| 11 | 特定非営利活動法人 恐竜のまち勝山応援隊 | かつやま恐竜の森 | 勝山市 |
| 12 | 気比の松原100年構想推進連絡協議会 | 気比の松原（松原国有林） | 敦賀市 |
| 13 | 特定非営利活動法人 自然体験共学センター | 上味見地域（ふくい森の子自然学校等） | 福井市 |
| 14 | 特定非営利活動法人 自然と共に生きる会サンガ | 美浜町新庄地区 （雲谷センター、溪流の里、赤坂山等） | 美浜町 |
| 15 | 清水竹拓行務店 | 福井市清水東地区 （清水町、小羽町、和田町、清水杉谷町等） | 福井市 |
| 16 | 特定非営利活動法人 森林楽校・森んこ | おおい町名田庄納田終老左近 | おおい町 |
| 17 | 田倉川と暮らしの会 | 南越前町古木（古木地区） （アカタン砂防堰堤周辺） | 南越前町 |
| 18 | 谷の山を愛する会 | 勝山市北谷町谷地区のブナ林 （奥越フットパスコース） | 勝山市 |
| 19 | 291の森保全の会 | 福井市美山町芦見地区 | 福井市 |
| 20 | ノーム自然環境教育事務所 | 大野市南六呂師 （ハックルベリーの森） | 大野市 |
| 21 | 東っ子自然たんけん隊 | 福井市竹生町 （ヨッシーの森およびその周辺） | 福井市 |
| 22 | 福井市 | 足羽三山（八幡山、兔越山、足羽山） | 福井市 |
| 23 | ボーイスカウト福井2団 | 池田町清水谷（清水谷キャンプ場） | 池田町 |
| 24 | 株式会社 まちUPいけだ | 池田町志津原 （ツリービクニックアドベンチャーいけだ） | 池田町 |
| 25 | 株式会社 マルツ電波 | 坂井市丸岡町山竹田 （マルツの森） | 坂井市 |
| 26 | 特定非営利活動法人 三国湊魅力づくりPJ | 坂井市三国町陣ヶ岡 （ラーバンの森およびその周辺） | 坂井市 |
| 27 | 森の楽校とようちえん「ぼてころころ」 | 福井市朝谷町（木ごころの森） | 福井市 |
| 28 | 特定非営利活動法人 森のほうかごがっこう | 坂井市丸岡町山竹田 （たけだ風の谷プレーパーク） | 坂井市 |
| 29 | 蝸の里くらぶ | 高浜町中寄区（牧山周辺） | 高浜町 |
| 30 | 特定非営利活動法人 WACおばま | 小浜市上根来地区 | 小浜市 |

| 登録番号 | 学びの森の活動を行う団体・法人名 | 学びの森の活動を行う場所 | |
|------|------------------|--------------------------------|------|
| | | | 市町 |
| 31 | さとやま子育てサロンいけだのそら | 池田町野尻地区 | 池田町 |
| 32 | にじいろずっく | 福井市角原町、生野町 | 福井市 |
| 33 | 森のようちえん風のいろ | 永平寺町東古市（永平寺・自然に学ぶ森） | 永平寺町 |
| 34 | こどもの森運営委員会 | 坂井市丸岡町竹田地区 （木育ガーデンプレイ、スタディ） | 坂井市 |

(表2) 福井ふるさと学びの海湖 登録団体および活動場所一覧

| 登録番号 | 学びの海湖の活動を行う団体・法人名 | 学びの海湖の活動を行う場所 | |
|------|-------------------|------------------------------|------|
| | | | 市町 |
| 1 | 越前松島水族館 | 水族館前の海岸（三国町崎） | 坂井市 |
| 2 | おおいビーチクラブ | 長浜浜海水浴場 | おおい町 |
| 3 | 一般社団法人 環境文化研究所 | 日野川（越前市内、鯖江市内）、 足羽川（福井市内） | 越前市 |
| 4 | 高浜ブルーフラッグアカデミー | 若狭和田ビーチ | 高浜町 |
| 5 | 国立若狭湾青少年自然の家 | 小浜市田島大浜海岸 | 小浜市 |

□「福井ふるさと学びの森・海湖」への研究所からの支援

登録団体に対し、イベント広報、安全対策講習、活動用資機材の貸出し、プログラムの提案、専門家の派遣等により活動を支援するとともに、令和元年度から、事業の質や多様性を向上させる取り組みを行おうとする登録団体や、新たに学びの森団体として登録申請を行う団体に対し活動費を助成

○イベント広報支援

ホームページや Facebook での情報発信

季節ごとのイベント案内チラシ（3回）

※夏イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響で開催イベント数が少なく作成せず。



季節ごとのイベント案内チラシ

○福井ふるさと学びの森 がんばる里山応援プロジェクト

福井ふるさと学びの森で実施する事業の質や多様性を向上させるための取組みに対して、専門家の派遣、助成金等により支援

対象事業例：活動場所の新規拡大、新規体験プログラムの開発、後継者育成等

令和2年度実績：4件

| 団体名 | 活動場所 | 実施内容 |
|----------------------|------------|--|
| 森のようちえん風のいろ | 永平寺町東古市 | 学びの森として新しく活動する森の遊び場を整備し、3回シリーズで森のようちえん活動を実施 ・6～8月 枯木の除去、支障木伐採、階段設置 ・9～11月 参加者とともに、ぶらんこの設置や秘密基地づくりを実施 |
| こどもの森運営委員会 | 坂井市丸岡町竹田地区 | 学びの森として新しく活動するエリア内に、木育ガーデンツリーデッキの製作を行い、「楽しみながら森を学ぶ」、「体験しながら森を学ぶ」をテーマにイベントを実施 |
| 特定非営利活動法人 森のほうかごがっこう | 福井市笹谷町 | リスの生態を学ぶため、参加者が家庭でも作れるリスハウスキットを製作し、森に設置するイベントを開催 ・森の環境のお話、どんぐりの木の植樹 |
| ノーム自然環境教育事務所 | 大野市南六呂師 | ツリークライミング講習会を開催し、スタッフの技術の向上を図るとともに、森でのヨガ体験の試行、ヘルスケアビジネスとしての協力体制を構築する等、実施プログラムを拡大 |



森のようちえん 風のいろ



こどもの森運営委員会



森のほうかごがっこう



ノーム自然環境教育事務所

○福井ふるさと学びの森・海湖登録団体の研修用動画の製作、配付

福井ふるさと学びの森および海湖団体の活動の際の安全性の向上、質の高い体験につなげるため、登録4団体により、各編約10～15分程度の研修用動画を製作し、各団体にDVDにより配付

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施していた「ネットワーク研修会」中止に伴う代替措置

テーマ 「安全・安心な自然体験～実践団体におけるリスクマネジメント～」

| 分野 | タイトル | 製作団体等 |
|--------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 危険な生き物(クマ、その他)への対応 | 森林体験活動におけるリスクとその対策 | ノーム自然環境教育事務所 |
| 子どもを対象とした活動 | 自然体験活動での安全管理について | NPO森林楽校・森んこ |
| 川での活動 | 安全・安心を川で学ぶ (足羽川ボート下りの例) | 編集：里山里海湖研究所 協力：(一社)環境文化研究所 |
| 感染症対策 | 自然体験活動時の感染症対策 | NPO自然体験共学センター |



○その他の支援内容

令和2年度実績 活動用資機材の貸出し 6件
 活動フィールドの斡旋 1件
 ※専門家の派遣、プログラムの提案はなし

⑦活動者の「やる気」の醸成

□ふくい里山里海湖活動表彰

保全・再生の活動者を幅広く表彰し、活動を応援
令和2年度実績：4件（2団体・3企業）を表彰

表彰団体一覧

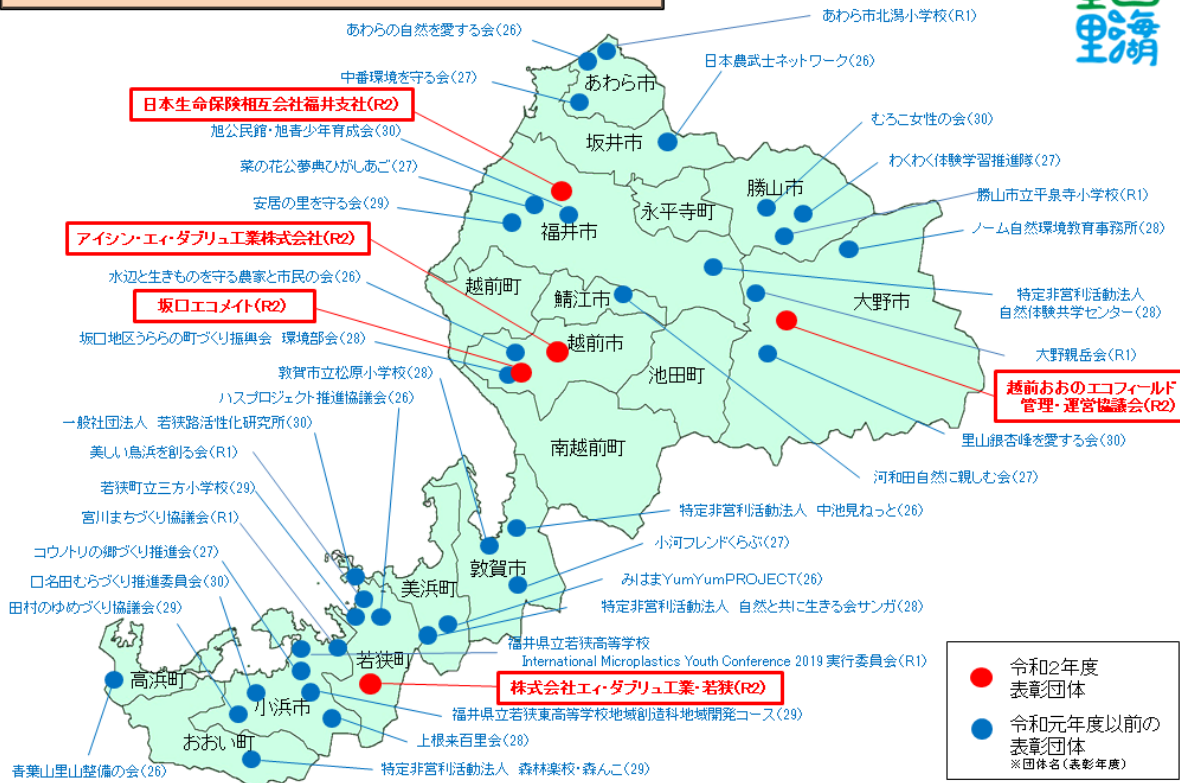
| | |
|---|--|
| <p>越前おおのエコフィールド 管理・運営協議会 (大野市)</p> |  |
| <p>平成21年から10年以上、大野市上庄地区にある「越前おおのエコフィールド」において、大野市内の広大な森林を守り育てるために、市内の小学2年生にドングリの苗木を育ててもらい「どングりの里親事業」、協議会会員の企業、団体に苗木の越冬作業や植樹作業を行う「森づくりイベント」を行っている。令和2年度も、人数制限や移動方法を工夫するなど、感染症対策を行いつつ、例年通り活動を継続している。これらの植樹活動等により、クマの出没被害軽減につなげることも目標としている。</p> | |
| <p>坂口エコメイト (越前市)</p> |  |
| <p>平成13年から、坂口地区の小中学生を中心に、20年間継続して生き物調査を行っている。平成28年からは外来種であるアメリカザリガニの駆除活動を始めた。それらをまとめ、県内はもちろん、「こどもエコクラブ全国フェスティバル」など全国規模の発表も行い、広く情報発信している。令和2年度はメンバーの活動時間が制約される中、観察場所の変更や過去の観察記録を活用するなどの工夫を行った。卒業生メンバーも坂口エコメイトの活動に関与しており、組織の存在自体が故郷を愛する人間形成に寄与している。</p> | |
| <p>(株) エイ・ダブリュ工業・若狭 (若狭町) アイシン・エイ・ダブリュ工業(株) (越前市)</p> |  |
| <p>若狭町脇袋区自治会が実施している^{わきぶくろ}膳部山登山道の整備作業に平成30年度から参加協力している。^{ぜんぶやま}急斜面への安全ロープ・簡易ステップの設置、景観支障木・倒木の伐採除去、案内標識や膳部山の紹介看板の取付作業を実施した。</p> | |

日本生命保険（相） 福井支社
（福井市）



越前市^{ほやまちょう}の帆山町里山保全の会が実施している村国山南側斜面の整備作業に令和元年度から参加協力している。急斜面への簡易ステップの設置、倒木の伐採除去、案内標識の取り付けのほか、材料を（公財）ニッセイ緑の財団が提供し地域の子供たちを交えた樹名板取付作業に協力した。

ふくい里山里海湖活動表彰 表彰団体一覧



□ふるさと研究員の認定

ふるさと研究員（農業・文化・環境・観光・民俗・ビジネス）を認定し、単なる技術の伝承だけでなく、その意味合いについても伝承

令和2年度実績：49名認定（1名追加認定）、延べ12回活動

ふるさと研究員 認定者一覧 (R3.6.1 現在、50音順)

| No. | 氏名 | 市町 | 主な活動分野 |
|-----|--------|------|------------------------------|
| 1 | 青池 豊博 | 若狭町 | 樹木の活用（景観、風景づくり） |
| 2 | 井草 貴男 | 福井市 | 自然観察指導、昆虫標本作成指導 |
| 3 | 池上 成志 | 若狭町 | 森づくり（森林環境）、きのご観察 |
| 4 | 大石橋 節子 | 福井市 | 自然体験活動、森のようちえん |
| 5 | 大椿 明夫 | 小浜市 | 狩猟を通じた自然環境保全、伝統文化の継承 |
| 6 | 大南 新一 | あわら市 | 山野草の保全、クラフト体験 |
| 7 | 萩田 英爾 | 福井市 | 農業・農村体験、自然体験活動 |
| 8 | 尾崎 恵里 | 若狭町 | 農業・農村体験 |
| 9 | 小澤 聖輔 | 福井市 | 里山整備、間伐材の有効利用 |
| 10 | 尾花 幸次 | おおい町 | 竹細工、森林整備 |
| 11 | 加藤 豊純 | 坂井市 | 伝承料理、クラフト体験、着付、フラワーアレンジメント |
| 12 | 笠原 英夫 | 福井市 | きのご観察（野生きのご同定・解説等）、きのご栽培技術指導 |
| 13 | 川崎 隆徳 | あわら市 | 環境学習支援 |
| 14 | 河田 勝治 | あわら市 | 山野草の保全、史跡探訪、竹細工、地引網体験、農業体験 |
| 15 | 北村 志穂美 | 敦賀市 | 自然の恵みを活かした料理・工作・暮らし体験 |
| 16 | 組頭 五十夫 | あわら市 | 自然体験活動 |
| 17 | 小嶋 明男 | 若狭町 | 探鳥会、水辺の生き物観察会等の指導、生態系学習講師 |
| 18 | 小松 晴夫 | 南越前町 | 里地里山の地域づくり |
| 19 | 近藤 邦憲 | あわら市 | 山野草の保全、クラフト体験 |
| 20 | 坂本 均 | 大野市 | 自然体験活動 |
| 21 | 坂本 道子 | 大野市 | 自然体験活動 |
| 22 | 櫻井 知栄子 | 福井市 | 環境保全、森のなりたち、山・川・海の流れ |
| 23 | 高橋 繁応 | 若狭町 | 野鳥観察、環境学習、生きもの調査、水月湖年縞の解説 |
| 24 | 田川 亨 | 敦賀市 | 野鳥観察における解説 |
| 25 | 武田 真澄美 | 美浜町 | 野鳥観察、自然再生活動、環境学習・生きもの調査、餅つき |
| 26 | 多田 憲市 | 福井市 | 里地里山の地域づくり |
| 27 | 田中 裕治 | 南越前町 | 木工クラフト体験 |
| 28 | 辻 義次 | 若狭町 | 野鳥観察、三方五湖の歴史、地質変化・活断層の解説 |
| 29 | 鳥居 直也 | 小浜市 | 自然体験活動 |
| 30 | 永上 新子 | 福井市 | 自然体験活動 |
| 31 | 永野 千太郎 | 高浜町 | 竹林整備、竹の有効活用 |
| 32 | 中村 悟 | 若狭町 | 野外活動、樹木観察、里の暮らし体験 |
| 33 | 夏野 宣秀 | 福井市 | 獣肉の有効活用 |
| 34 | 西尾 佳之 | 福井市 | 自然体験活動 |
| 35 | 野村 みゆき | 越前市 | 農業・農村体験、伝承料理、伝統文化、田んぼでの環境学習 |
| 36 | 萩原 茂男 | おおい町 | 自然体験活動、林業体験活動 |
| 37 | 林 昌尚 | 越前市 | 自然体験活動、自然体験活動者への指導（ネイチャーゲーム） |
| 38 | 日野岡 金治 | 越前市 | 自然体験活動、木育活動 |
| 39 | 福嶋 徳美 | 鯖江市 | 自然体験活動、里の暮らし |
| 40 | 福地 伸二 | 敦賀市 | 竹を利用した遊び、端材を利用した工作 |
| 41 | 福地 久子 | 敦賀市 | 竹を利用した遊び |
| 42 | 藤原 一功 | 福井市 | 里山整備、木工クラフト体験 |
| 43 | 平城 常雄 | 小浜市 | 野鳥観察における解説 |
| 44 | 細川 和朗 | 福井市 | 自然体験活動 |
| 45 | 堀 孝敏 | おおい町 | 野鳥観察における解説 |
| 46 | 水谷 弘則 | 敦賀市 | 竹を利用した遊び |
| 47 | 山本 仁 | 福井市 | 里山・地を利用したウメ栽培体験、かや田等の保全活動体験 |
| 48 | 吉田 良三 | 若狭町 | 湖の伝統漁法 |
| 49 | 吉村 義彦 | 若狭町 | 農業体験 |

⑧保全・再生活動を支援

□元気なふるさとの里山整備事業（地域と企業等との協働による里山整備）

過疎化や高齢化により整備が行き届かなくなった里山の再生を図り、地域の活性化につなげるため、平成30年度から、地域住民以外の企業等の参加および協力を得て保全・整備活動を行うとする住民団体の活動に対して、作業に必要な資機材の貸出し、専門家の派遣、助成金等により支援

整備対象例：身近な森での展望台、登山道の整備（案内看板の製作、設置等）、ビオトープ、里山公園、広場の整備等

令和2年度実績：4件

| 団体名（整備地区名） | 実施内容 | 参加協力企業 |
|---|--|------------------------------|
| ほやま 帆山町里山保全の会 （越前市帆山町 村国山） | 令和元年度から継続整備 ほ山歴史古道（遊歩道）の再整備 地域の見どころの案内看板設置 | 日本生命保険相互会社福井支社（福井市） |
| わきぶくろ 脇袋区自治会 （若狭町脇袋 膳部山） | 平成30年度から継続整備 膳部山登山道の整備 簡易階段、案内標識の設置 | (株)エイ・ダブリュ工業・若狭（若狭町） |
| しんりんがっこう もり NPO森林楽校・森んこ （おおい町名田庄納田終老左近） | 令和2年度から整備開始 ビオトープの整備 廃材の処分、水路、池の整備 | （合同）おおい町地域電力（おおい町） 京都大学学生 |
| かき 柿谷町里山嘉来会 （福井市柿谷町） | 令和2年度から整備開始 白山神社周辺の竹林・雑木林整備 竹林等伐採処理、花木の植樹 | (株)小林農園 |



越前市帆山町



おおい町名田庄納田終



福井市柿谷町

□資機材の貸出し

保全・再生活動や自然観察会などに必要な資機材を無償で貸出し

○貸出資機材

- <福井地区：県森林組合連合会> ウッドチップパー 2台、薪割り機 3台、組立式炭化炉 4台
- <丹南地区：(株)コープ武生> ウッドチップパー 1台、薪割り機 1台
- <嶺南地区：里山里海湖研究所> ウッドチップパー 1台、薪割り機 1台、組立式炭化炉 2台

○貸出実績

| | 福井地区 | 丹南地区 | 嶺南地区 | 計（延べ） |
|----------|------|------|------|-------|
| ウッドチップパー | 24 | 13 | 11 | 48 |
| 薪割り機 | 6 | 9 | 5 | 20 |
| 組立式炭化炉 | 1 | — | 1 | 2 |
| 計（延べ） | 31 | 22 | 17 | 70 |

<利用者の声>

- ・ チッパーのおかげで竹などの体積が減り感謝している。近年まで怖くて暗い山際が見通しもよくなり、明るい親しみのあるかつての里山になってきていると喜ばれている。
- ・ 多種多様な生態系維持には、このような活動も大切と実感している。
- ・ 薪割り機はパワーがあり、音も静かで使いやすく、作業がはかどった。


⑨ 研究員の研究成果を実践活動に展開

□ 三方湖のヒシ対策事業

三方湖に繁茂するヒシにより、水中の貧酸素化による生態系への悪影響、漁業の航路阻害や漁場の消失、湖岸に堆積するヒシの枯死体から発する悪臭などの被害が発生

これらを解消するために、研究員が開発した経済的に安価で高度な専門的技術を必要とせず、効果的にヒシを刈り取ることでできるワイヤー刈りの手法により、平成30年度からヒシの刈取りを実施

令和2年度実績

| | |
|--------|--|
| 期間 | 6月15日～7月31日 |
| 刈取り面積 | 109.6ha |
| 回収量 | 11.8t |
| 刈取りエリア |  |



⑩ 来所者向け体験メニューの提供

- 常時提供
野鳥等の自然観察、松ぼっくり工作、お絵かきコースターなど
- 特別企画
(1) Let's SATOYAMAいんぐりっしゅ (9/26)
縄文ロマンパークを散策しながら英語で里山クイズ



- (2) 森のハンガーを作ろう (10/25)
形の良い木の枝を探し、のこぎりや小刀を使って加工しオリジナルのハンガーを製作



里山あそび教室

9月26日(土)

SATOYAMA いんぐりっしゅ

① 9:30～10:30
② 11:00～12:00

定員(参加)：各回各回 10名(1～3年生)

料 金：無料(おやつ代別、お水の代別)

主 催：ネイチャー・シェパード

10月25日(日)

ネイチャークラフト

森のハンガーを作ろう

① 9:30～10:30
② 10:30～12:00

定員(参加)：各回各回 10名(小学生以上)

料 金：無料(おやつ代別、お水の代別)

主 催：ネイチャー・シェパード

会場：若狭町縄文ロマンパーク (縄文1-1 縄文博物館ビル129-12) ※縄文博物館入口横かまど

参加費：両日 50円 (おやつ代別)

申込：福井県里山里海湖研究所 TEL: 0770-45-5580 (平日) 0770-45-9581 (土日祝)

※申込：10/15(木)15時締切(先着順)

※本会主催のイベントは、主催者責任で実施します。万が一の事故やケガ、キャンセル等の発生は、主催者の責任ではありません。また、参加の申し込みは、申し込みの時点でキャンセル料がかかります。

(FAX 申込書) FAX 0770-45-3680

※申し込みの電話を承りますので、平日の平日に連絡の取れる電話番をお知らせください。(電話、Eメールでも受け付けます。)

| 氏名 | 性別 | 年齢 | 本人 | お申し込みの理由(お申し込みの理由) | 所属 | 合計 |
|------|----|----|----|--------------------|----|----|
| | | | | | | |
| ご住所 | | | | | | |
| 申し込み | | | | | | |

(3) 親子縄文たんけんたい (11/28)

縄文ロマンパークで見ることのできる景色や生きものを、マップを持って探索(荒天のため、ネイチャーラフトを中心に実施)



親子縄文たんけんたい
探索マップを持って
ロマンパークを探索!

日時: 令和2年11月28日(土)
午前9時から12時まで(昼休みあり)

場所: 若狭町縄文ロマンパーク
三方五湖自然観察棟122-31-1

定員: 30名
参加費: 50円(税別)

申込・お問合せ
福井県里山里山海湖研究所
TEL: 0770-45-3580(平日)
0770-45-3581(土日祝)
メールアドレス: satoyama@pref.fukui.lg.jp

<FAX用申込書> FAX 0770-45-3680

| | | | |
|----------|----|----|----|
| お名前(代表者) | 氏名 | 年齢 | 性別 |
| ご住所 | 〒 | 市 | 町 |
| 電話番号 | | | |

ミニ門松をつくろう

2020年12月26日(土)
09:30~@11:00~@13:30~

定員 各回3組
参加費 1組あたり400円(ミニ門松・ミニミニ門松 各1個)
※お年玉の準備も体験できます。

会場・申込・問い合わせ
福井県里山里山海湖研究所 三方五湖自然観察棟
三方五湖自然観察棟122-31-1
TEL: 0770-45-3580(平日)
0770-45-3581(土日祝)
メールアドレス: satoyama@pref.fukui.lg.jp

(FAX用申込書) FAX 0770-45-3680

★受付時間の短縮をしますので、平日の日中に連絡のとれる電話番号まで記入ください。(税別、送料は受け付けません。)

| | | | |
|----------|----|----|----|
| お名前(代表者) | 氏名 | 年齢 | 性別 |
| ご住所 | 〒 | 市 | 町 |
| 電話番号 | | | |

(4) ミニ門松をつくろう (12/26)

里山から切り出した竹を使ったオリジナルの門松づくり



(5) 冬の水鳥観察会 in 三方湖 (1/31、2/14)

三方湖での水鳥観察会と薪ストーブを使った焼き芋体験



冬の水鳥観察会 in 三方湖

令和3年
1月31日(日) & 2月14日(日)
①10:00~11:30
②13:00~14:30

集合場所
三方五湖自然観察棟
(三方五湖自然観察棟122-31-1
三方五湖自然観察棟)

各回5組(事前申し込み制)
参加費 送料50円/人
材料代 100円/組
申込先 福井県里山里山海湖研究所
TEL: 0770-45-3580
FAX: 0770-45-3680
Mail: satoyama@pref.fukui.lg.jp

(FAX用申込書) FAX 0770-45-3680

| | | | |
|----------|----|----|----|
| お名前(代表者) | 氏名 | 年齢 | 性別 |
| ご住所 | 〒 | 市 | 町 |
| 電話番号 | | | |

□共催・協力事業

| 開催日 | 事業名・内容 | 内容 | 対象 | 人数 | 主催 |
|--------------|------------------------|----------------|------------|-----|--------------------------|
| R2. 9. 20-22 | わくわく体験塾 | 野鳥観察 (高橋) | 県内 小中学生 | 24 | 「体験の風をおこそう」 運動推進実行委員会 |
| R3. 3. 20 | 三方五湖エリア魅力アップ シンポジウム | 研究活動紹介 (宮本) | 一般 | 120 | 福井県嶺南振興局 |

□出展イベント

| 開催日 | イベント名 | 内容 | 対象 | 主催 |
|---------------|----------|---------------|----|------------------|
| R2. 11. 21-22 | 親子キャンプ | 工作体験ブース | 一般 | 三方青年の家 |
| R2. 12. 5 | クラフトマルシェ | どんぐり・松ぼっくりアート | 一般 | 国立若狭湾青少年自然 の家 |

□視察等受入れ

| 実施日 | 内容 | 来訪者 | 人数 |
|------------|-----------------------------|----------------|----|
| R2. 9. 24 | 工作体験（自然観察棟デッキ） | 敦賀パソコンクラブ | 10 |
| R2. 11. 15 | 三方湖の自然観察（三方湖畔） | 安居公民館まちづくりグループ | 17 |
| R2. 12. 6 | 三方湖の水鳥観察（自然観察棟） | すばる福祉会（兵庫県） | 13 |
| R2. 12. 17 | ふれあい若狭 取材 | 福井放送（株） | 3 |
| R3. 3. 26 | ふるさと探究講座③「若狭で体験！自然環境と私たちの今」 | 福井ライフ・アカデミー | 20 |



わくわく体験塾



クラフトマルシェ



ふれあい若狭 取材

3 主なイベント詳細報告

(1) 里山里海湖フォーラム2021

福井県里山里海湖研究所の今年度の研究成果を広く県民に発表するとともに、里山里海湖を含めた環境問題について先進的な取り組みに関する講演会を実施し、人の生活と自然のつながりに対する理解を深めていただくためのフォーラムを開催した。

また、里山里海湖に関する優れた活動を実施している団体を表彰した。

- 1 日時 令和3年3月7日（日）13:00～16:10
- 2 場所 メイン会場 福井県産業情報センター マルチホール（坂井市丸岡町熊堂）
サテライト会場 パレア若狭 研修室A（若狭町市場）
- 3 参加者 92名（メイン会場44名、サテライト会場7名、オンライン聴講申込41名）
- 4 内容

(1) 開会あいさつ

福井県里山里海湖研究所 進士五十八所長

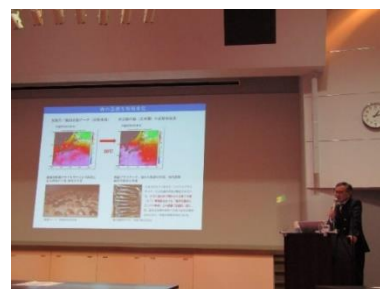
(2) 里山里海湖講演

講師：宗像大社 宮司 葦津 敬之氏

演題：世界遺産の宗像大社がなぜ環境問題に取り組むのか？

夏場の海水温度の上昇、磯焼けの進む玄界灘において、海の再生事業として竹の漁礁設置や海岸清掃に若者と長年取り組んできたことや、宗像大社と同じく世界遺産に登録された富士山と連携することにより、環境問題に関する情報発信力を高める手法について講演いただいた。

また、海は世界中でつながっており、一地域だけではなく各地で取り組むことが必要と説明、宗像と越前・若狭も海でつながっていることから、研究所との連携事業についてもご提案いただいた。



(3) ふくい里山里海湖活動表彰

里山里海湖の保全・活用等に取り組む優れた活動者に対して「ふくい里山里海湖活動表彰」を行った。また、メイン会場のロビーにおいて各団体の活動を紹介するポスター展示を行った。

〔令和2年度受賞 4件5団体・企業〕

- ・ 越前おおのエコフィールド管理・運営協議会（大野市）
- ・ 坂口エコメイト（越前市）
- ・ 株式会社エイ・ダブリュ工業・若狭（若狭町）／
アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社（越前市）
- ・ 日本生命保険相互会社 福井支社（福井市）



(4) 里山里海湖研究発表

里山里海湖研究所の研究員4名による令和2年度研究成果や研究活動の報告を行った。

- ①山崎彬輝／花粉前線北上中！～年縞と花粉の今後の展望～
- ②石井 潤／北潟湖の水草と環境の調査報告：地域の暮らしのための自然再生を考える
- ③宮本 康／歴史を踏まえて三方五湖の自然を守ったら、旨い湖魚料理がいただけた
- ④樋口潤一／コイもびっくり！たたき網の秘密～道具から見る里湖の利用～

(2) 企画展の開催

三方五湖自然観察棟において、研究員や研究事務員が研究や実践活動の中で発案した企画展を開催し、三方五湖周辺の自然や歴史、伝統漁法、食材の可能性について広く県民にアピールした。

1 写真展「ソラカラミタ若狭」

※福井県年縞博物館と共催

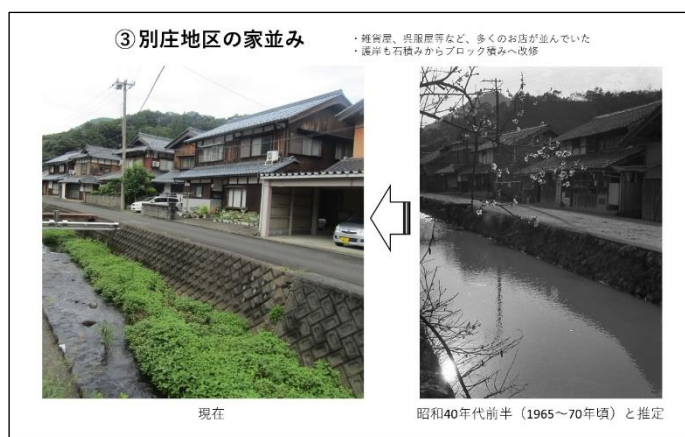
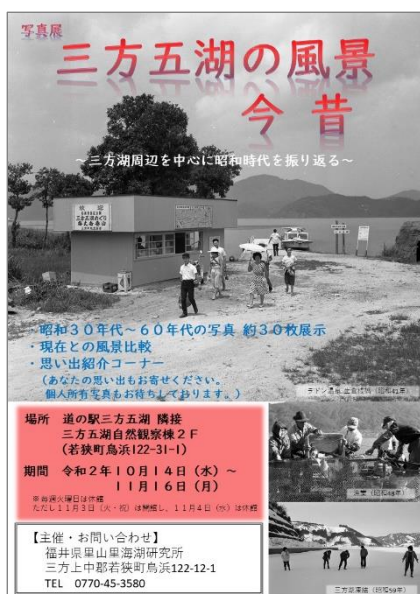
- (1) 期間 令和2年7月15日(水)～8月31日(月)
- (2) 内容
 - ・空撮画像約50枚のスライドショーを液晶モニターで上映(約5分)
 - ・写真はすべて、色鮮やかなジオラマ風に加工
 - ・撮影地点やドローンの紹介 など



「積雪の水月湖」

2 写真展「三方五湖の風景今昔～三方湖を中心に昭和時代を振り返る～」

- (1) 期間 令和2年10月14日(水)～11月16日(月)
- (2) 内容
 - ・若狭町歴史文化課からデータ提供を受けた昭和時代の写真約30枚を印刷展示
 - ・現在との風景を比較した写真5地点
 - ・地域の方の思い出の紹介
 - ・来場者が、自らの思い出を自由に記入できるコーナーを設置



現在との風景比較の例

3 企画展「コイもびっくり 三方湖の漁具展」

- (1) 期間 令和2年11月25日(水)～12月25日(金)
 (2) 内容 ・三方湖の漁で使用されていた網、筒等の漁労用具の実物を展示
 ・三方五湖の特色と、漁法の解説、フナ・コイの食文化の解説パネル
 ・実物大の三方湖のサンパ船を体感できる床敷 など



4 企画展「三方五湖メシ 食べてみた! (冬編)」

- (1) 期間 令和3年2月3日(水)～3月31日(水) ※好評につき3月1日までの展示予定を延長
 (2) 内容 ・三方五湖に生息する魚介類の紹介
 ・当研究所の研究者が実際に食べた三方五湖の湖魚料理をエピソードとともに紹介するパネルの展示

